

# 安村 卓士 Takuji Yasumura

2021年6月15日 インタビュアー：乙戸将司、編集：栗原李佳・櫻井莉菜

みたいなことをしてほしいってなったときに、展示方法とか迷ってたんですけど、たまたまこの大学院を知って、アートプロジェクトや複合芸術とか、ただ美術をやるんじゃない方向を深めたいって思って、入学しました。

学部ではどのようなことをしていましたか。また現在の制作に至った経緯などはありますか。

油絵を描き始めたのは、大学入前の高校生とかで、予備校で始めました。美術館とかに飾ってある絵に憧れがあつて描き始めたんだけど、でも全然馴染みがある画材とかじゃないし、何か自分に合わないなと思って。身近なところから考えようと思ったときに、普通に小学生の頃とか遊んでるじゃないですか、おもちゃとか駄菓子屋とかに行ったりして。そういうところからもう一度考えようと思って、立体作品作ったりしてたかな。あと遺跡とかがめちゃ好きで、出土するものすごく惹かれたり、出土したものからその当時の光景みたいなものが想像できるところに魅力があつたりして、そういうおもちゃとか遺跡から出土されるもの

とかから影響を受けつつ、今何か立体物を作っている感じがあります。

今後の活動・展望について教えてくださいませんか。

今後もどんどん作りつつ、進んでいきたいって感じで。あまり先を見越して何かをやっているというよりも、どんどん繋いでいくみたいな感じで、進んでいけたらなと思っていきます。立体作品を作っていくみたいに、僕は目的しながら作っていくのですが、どんどんやりながら組み立てていくみたいな、そういう生き方になっていくんじゃないかなっていう感じがします。

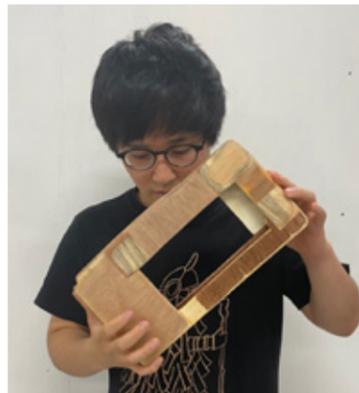
最後にオープンキャンパスを見ている人や進学を考えている人へなにか一言ありますか。

やりたいことを自分で決めて、もしこの大学院に来たいって感じになったのなら、挑戦してみるといいと思います。



(写真左上段) 『ペットが飼えなかった人のための彫刻2』  
(写真左下段) 『デモクラシーリバーシ』

(写真右) 『ペットが飼えなかった人のための彫刻1』



(写真左) インタビュー動画内で紹介している作品 (写真中央) 『デモクラシーリバーシ』

(写真右) 『関係性の彫刻』



## 安村 卓士 Takuji Yasumura

### プロフィール

1995年 広島県生まれ。  
2018年 多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻を卒業。  
現在は、秋田公立美術大学複合芸術研究科に在学中。(修士課程2年生)

名前、出身地、出身学部を教えてくださいませんか。

安村卓士です。出身は広島県で、学部は多摩美術大学の絵画学科、油画専攻でした。油絵科ですね。

現在の活動や研究テーマについて、お話しだけでもよろしいですか。

研究テーマは一応、芸術と教育が混ざり合う点として、遊びみたいなのをテーマにしています。作品としては、作りかけのこういうのとかがいっぱいあるんですけど。こういうのとか、だいたい作りかけなんですけど、人がこーやって触って遊べるような、おもちゃみたいな作品を作っています。

秋田に来た経緯や秋美の大学院に進学した理由を教えてください。

学部的时候は一応、絵画学科に入つて、一年生、二年生ぐらいまでは油絵描いてたんですけど、油絵が、もう嫌になつてしまつて……。そこから立体作品みたいなのを作っていきました。でもただ彫刻作品として展示されるんじゃないくて、人に触れて遊んでもらう